

広島県議会議員補欠選挙
広島市安佐南区選挙区

選挙公報

令和3年11月14日執行
広島県選挙管理委員会

あなたの声に「はい」と答えて その声を「かな」えて参ります!

1 信頼される政治を目指します

税金が報酬の政治家は、皆さまにさまざまな情報を提供することが役割だと考えています。皆さまの目線に立ち、議会活動や税金の使われ方をわかりやすく見える化します。

2 災害から暮らしを守ります

大雨などによる浸水被害や土砂災害が各地で発生しています。皆さまの安全な暮らしを守るため、AIを防災・減災へ活用し万全の対策に取り組みます。

3 子どもが輝いて暮らせる県へ

オンラインでの仕事環境の整備に向けて、子育て中の保護者の皆さまに寄り添った働き方の体制づくりを目指します。子どもたちの現状に寄り添った心と体のケアの充実をはかります。

4 福祉・医療の充実をはかります

超高齢化社会において、暮らしへの支援が必要となります。健康寿命を延ばし、さまざまな社会の現場で経験を重ねた高齢者の方が活躍できる広島を目指します。

はいおか香奈 プロフィール

昭和58年 6月生まれ
平成18年 広島修道大学卒業
平成21年 和木町議会議員初当選(26歳)
平成25年 参議院広島県選挙区173,266票
(得票実績)
平成28年 参議院広島県選挙区157,858票
(得票実績)
令和2年 日本維新の会を離党
令和3年 安佐南区で活動(砥固在住)
広島県議会議員補欠選挙に立候補
(自民党公認・公明党推薦)
現在: 広島修道大学同窓会評議員
修道学園同窓会連合会幹事
岩国高校同窓会広島支部幹事



★趣味/特技: 仏壇めぐり
★座右の銘/利他
★好きな食べ物/おむすび

はいおか香奈選挙事務所
〒731-0135 安佐南区長束 3-24-3 藤田ビル1階

広島を換気しよう!
広島を活気づけよう!



はいおか かな 香奈

自民党公認
公明党推薦
広島県議会議員補欠選挙候補者(安佐南区)

いとう まもる 45歳 プロフィール Mamoru Ito Profile

1976年(昭和51年)1月30日生まれ
1999年 広島大学経済学部 卒業
1999年 島根県川本町役場
災害復旧(河川・道路)担当
2001年 不動産会社(広島)入社
2007年 不動産会社(広島)代表就任
2014年 衆議院議員 公設秘書
2017年(株)マエショウホーム
(社)地域空家管理協議会 勤務

好きな言葉: 日々、挑戦。為せば成る。
趣味: 演劇・舞台鑑賞
家族: 妻、猫1匹

安佐南を守る。

災害から 命・財産を守る

コロナで命を失うこともいけません、ですが仕事や経済的なことで命を失うことがあってはいけません。行政と民間で経験したことを活かし、地域経済に必要な政策、行政側が迅速な対応ができる仕組みづくりに取り組みます。

現場での災害復旧の担当や、2014年8.20広島土砂災害の体験から、地元を歩き、お話を聞き、危険な個所の調査・対策に尽力していきます。

コロナ禍から 地域経済と 雇用を守る

政治の信頼を回復するため、安佐南区からクリーンな政治を実現するために、先頭に立ち身をもって実行します。

広島の クリーンな 政治を守る

指します。

私が政治を志すきっかけとなったのは、2014年の8・20広島土砂災害です。その時八木に住んでいた家族が被災しました。幸いにも、地域の方の協力もあり、家族全員無事でしたが、土砂まみれとなった家族の家を見た衝撃は忘れられることはありません。
現場勤務の経験から、早期の復旧・復興のためには、行政の力・政治の力が重要と感じ、国会議員秘書として2014年から2017年まで勤務し、復旧・復興に向け、安佐南区を歩き、地元の方、被災された方のお話を、何度もお聞きしました。その経験から、災害に強いまちづくり、将来に渡り安心して暮らせるまちづくりの実現を目指します。



伊藤 まもる

無所属 広島県議会議員候補

金権政治を一掃しよう

安佐南区県議補選候補者 金権政治をただす市民の会(無所属・日本共産党推薦)

やまね 岩男



4つの基本政策 金権政治を一掃する

● 河井疑惑の中心選挙区・安佐南区から「疑惑を徹底追及・解明」する
● 被買収県議13人の辞職を求める
● 政治倫理審査会(已弁護士・有識者など)を招き、公開とする

「コロナ禍から いのちと暮らしを守る」

● 「コロナ禍で、医療に献身的なことをなす積極的に支援し、深刻な被害を受けている方々のいのちと暮らしを守るために全力をあげる」
● 安佐南区・安佐北区「保健所」を「U-ONE」

安心・安全をつくる

● 県内で最も土砂災害危険区域の多い安佐南区で、地域住民の安心と安全を守る施策を抜本的に広げる
● 多発する災害に危険に向き合い、地域「U-ONE」を「U-ONE」にする
● 避難施設「命のシェルター」をつくる

「黒い雨」と 核兵器禁止条約

● 「黒い雨」被ばく者全員に「被爆者健康手帳」を交付する
● 核兵器禁止条約への参加を国に強く求める

略歴

1951年生・70歳。豊平町立原東小学校下石分校(複式)、同原中学校、県立千代田高校卒業。1970年、中国新聞入社。中国新聞労組書記長・新聞労連書記長
家族: 妻と犬1匹
趣味: 映画・演劇鑑賞、新聞を読むこと。



「選挙のめいすいくん」

投票日 11月14日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

期日前投票 11月13日(土)まで 午前8時30分から午後8時まで

(支所・出張所等では期間や時間が異なる場合があります。)

新型コロナウイルス感染予防のためにも、期日前投票の積極的な利用をお願いします。

選挙管理委員会が実施する感染症対策

有権者の皆様へお願い

投票所、期日前投票所には手指用消毒液を設置します。	投票管理者、投票立会人、投票所スタッフはマスクを着用します。	投票所内は定期的に換気を実施します。	記載台などの不特定多数の方が触れる箇所は、定期的に消毒します。	投票の際はマスクの着用をお願いします。	来場前と帰宅後の手洗いの実施をお願いします。	投票所では、持参した鉛筆を使用することができます。	周りの方との距離の確保にご協力をお願いします。